

# 「当院における抗インフルエンザ薬使用後に発症した細菌性肺炎の検討」について

加古川中央市民病院呼吸器内科では、現在、上記の研究を実施しております。内容については下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

## 【研究概要及び利用目的】

2018年4月より肺炎球菌が血液培養で検出された侵襲性肺炎球菌感染症が5類感染症と指定され全例調査となった。当院の感染症診療において積極的に血液培養2セット提出がなされ、血培陽性の肺炎球菌肺炎患者が多く検出されている。血液培養陽性患者の特徴を明らかにすることは日常診療に有用であると考えられる。

## 【登録期間】

研究実施期間：院長承認日～2019年11月30日

研究対象期間：2019年1月1日～2019年2月28日

## 【目的】

インフルエンザ罹患後に発症した細菌性肺炎において使用した抗インフルエンザ薬の比較をおこなう。

## 【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2019年1月1日～2019年2月28日の間に、インフルエンザ罹患後に発症した細菌性肺炎による入院患者14例を対象とした。抗インフルエンザ薬として処方された新規薬バロキサセビルとそれ以外の従来の薬剤が肺炎の発症にどう影響したか比較検討した。

(収集データ)

性別、年齢、血液データ、胸部画像所見、治療期間、入院期間、転帰  
新たな検査等の患者負担はない。

## 【個人情報保護の方法】

個人情報および診療情報などのプライバシーに関する情報は個人の人格尊重の理念の下、厳重に保護され慎重に取り扱われるべきものと認識し、万全な管理対策を講じ、プライバシー保護に努めます。プライバシーの保護に配慮するため、患者の試料や情報はただちに識別ができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録はインターネットに接続しない外部記憶装置に記録し、加古川中央市民病院医局のカギのかかる保管庫に保管します。

### 【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、患者個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため不利益はありません。

### 【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

この研究で取得した患者情報は、論文等の発表から5年間は保管され、その後は患者を識別する情報を復元不可能な状態にして破棄する。また、患者が本研究に関する使用の取りやめを申し出た際、申し出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄します。

### 【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがあるが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

### 【研究へのデータ使用の取りやめについて】

随時可能とする。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者データは本研究に使用しません。しかし同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できない場合があります。

### 【研究期間の研究に係る利益相反及び個人の利益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況】

研究責任者及び分担研究者に開示すべき利益相反はありません。

### 【研究代表者】

加古川中央市民病院 呼吸器内科 主任科部長 西馬 照明

### 【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科

西馬 照明

連絡先：079-451-5500